

# 平成30年度 年間事業計画

## 東筑保育園

平成30年度は、改定保育所保育指針の施行やキャリアアップ研修の実施など保育士等にとって大きな節目の年となる。保育所保育指針においては、特に乳幼児期の保育の重要性から小学校への接続までの育ちを踏まえた保育計画等記載内容の充実や子育て支援の章の新設などが見直された。また、本年度から本格的に実施されるキャリアアップ研修について、保育士等の研修受講計画策定など保育所（園）の課題が残されている。

### 【平成30年度重点的な取り組み事項】

#### 1. 保育内容の向上

##### (1) 保育計画等の評価と充実を図る

前文のとおり、本年度は職員の資質・専門性を問われることが伺える。そのため、改定された保育所保育指針を学び、未満児保育の充実と職員の保育に対する意識の向上、キャリアアップにつながる技術の習得ができる研修への参加を積極的に薦める。

また、子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえ、保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援の充実を図る。

##### (2) 保育の充実を図る

・環 境 … (物的環境) 手作り玩具・絵本等の充実を図ることは継続していく。  
また、子どもの興味・関心を捉え、遊びが主体的に発展していく環境を整える。

(人的環境) 子どもへの関わりや言葉かけ(特に未満児は応答的保育)を見直し再度確認を行い、保育の充実に努める。

・健 康 … (体力の向上) 開園当初から、毎朝、3歳以上児と職員が体操・マラソンを行っていることや、バランス感覚を鍛えるための竹馬は継続していく。

(心身の健康) 基本的生活習慣等の園での取り組みを掲示やおたより、保育参加・参観の際に講演会等を行い保護者に知らせ、家庭での気付きを働きかけているので継続していく。

##### (3) 当法人内6施設における研修の取り組み

・処遇改善等加算対象職員に対し、法人内研修を年4回実施し、各担当分野の職務内容について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。

・研修会場は各施設を利用し、自園との違い等を見ることで環境や配置に関心を持ち、視野を広げる。

〈第1回〉日時・会場：平成30年4月14日(土) 14時～ 北方保育所(予定)

対 象：施設長・主任保育士・副主任保育士

研 修 科 目：副主任としての職責と担当業務、当法人の概要

#### 2. 円滑な園の運営と充実を図る

・施設の年長者との交流・地域・小学校・他保育所との交流を継続していく。

#### 3. エコ活動の取り組み

・リサイクル … プルタブ、段ボール等は則松市民センターへ持ち込み、ペットボトルのキャップはスーパーへ持参しているので継続していく。

#### 4. 施設整備及び管理

園舎が建てて39年となり、各クラスのドアや窓、壁等内装の老朽化が進んでいる。園児の安全・安心を第一に考え、内装の修繕工事を平成28年度から計画的に取り組んできた。平成30年度も継続して①各クラスの建具取替工事（金物・ガラス含む）、②壁改修工事、③手洗い場の取替工事、④木枠等塗り替え工事等、また、給食室・遊戯室・事務室・休憩室・廊下等の老朽箇所も、計画に沿って、継続的に修繕を行いたい。

#### 【 平均児童数／4月入所予定児童数 】

定員：120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	10名	21名	22名	20名	21名	22名	116名
4月入所児童数	3名	27名	15名	25名	13名	19名	102名

#### 【 一時保育利用状況 見込数 】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
40件	80,000円	10件	15,000円	50件	95,000円

※ 保護者などのパート就労や疾病、出産及び育児リフレッシュなどの理由により、一時的に家庭での保育に困難をきたした時、その子どもを保育所で保育する。したがって、通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

◀ 職員配置 ▶ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

#### 【 延長保育利用状況 見込数 】

利用登録人数（年間）	320名	平均実利用者数	11名
------------	------	---------	-----

※ 異年齢児の関わりを大切にした遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子どもたちが心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

◀ 職員配置 ▶ 正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

## 1. 保育理念

児童保育施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

## 2. 保育方針

子ども一人ひとりを大切に、健全な心身の発達を促し、思いやりのある意欲的な子どもを育てる。

## 3. 保育目標

### \* じょうぶな身体、元気な子ども

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、素足保育を行い丈夫な身体を作る。
- ・ 食に意欲と関心を持ち、健康な身体を作る。

### \* 心身ともに豊かな子ども

- ・ 地域との交流を深め、世代間交流・異年齢児保育を通して、思いやりのある豊かな心を育てる。

### \* 自分で考え意欲的な子ども

- ・ 身の回りのことは、自分でする力を育てる。
- ・ 自分の意志をはっきりと伝え、相手の話すこともよく聞く力を育てる。

## ○ 保育内容

保育指針を基礎にして、毎月職員会議を開き、各年齢に応じた養護・教育のねらい及び内容からカリキュラムを作成し、愛情豊かな保育を進めていく。

また、職員研修では、子ども達が、保育所において安定した生活（すなわち生命の保持及び情緒の安定）と充実した活動ができるように、研究課題を出し合い検討していく。

例えば ① 子どもの人権について

② 記録の取り方や指導計画作成について

③ 保護者との対応の仕方（多様化する育児への考え）

④ 一時保育・延長保育について

## ○ 行 事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は、知育面・体力面を考慮して目的地を選択し、そのうち1回は、親子遠足、バス遠足を取り入れる。（現地視察）
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながらも、一人ひとりを大切に参加させる。

## ○ 安全対策

- ・ 毎月1回火災等の緊急事態を想定した避難訓練を行う。
- ・ 地震災害を想定した避難訓練も年2回実施する。
- ・ 不審者の侵入を想定した防犯訓練を年2回実施する。
- ・ 誘導その他の不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入し薬剤情報提供書等がある場合にはそれも添付するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

#### ○ 地域との交流

- ・ 地域の方や民生児童委員の方々との食事会やふれあい交流活動を行う。
- ・ 高齢者ホームの入所者や地域のお年寄りを招待又は訪問し、季節的行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 地域の行事（敬老会・市民センター秋祭り等）に参加する。
- ・ 卒園児を含む一般児童を保育園に招き、交流を深める。
- ・ 小・中・高等学校等の生徒を対象とする一日保育士体験学習を行う。
- ・ 一時保育事業を行う。

#### ○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

（保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

#### ○ 保育担当

担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

#### ○ 職員研修

- ・ 全国・県・市・区関係及び、各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討し、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

#### 4. 保育担当者（別紙2の通り）

#### 5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区則松二丁目9番1号 1, 204.74㎡

(2) 建物 鉄筋コンクリート造2階建の1階部分 707.13㎡

#### 6. 資金計画

通常経費は、委託費収入・私的契約利用料収入・補助金事業収入・受託事業収入・受入研修費収入・利用者等外給食費収入・その他の事業収入・雑収入・受取利息配当金収入等によるものとする。

【 平成30年度主な行事 】

実施月	行 事	参加者	場所・会場
4 月	平成30年度 第39回 入園式及び進級式(クラス懇談会) 交通安全・防犯指導 食材買い物	全児・保護者 以上児・折尾警察署 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 平 田 商 店
5 月	園児健康診断 1回目 春の親子遠足 野菜植えつけ	全 児 全児・保護者 以 上 児	保 育 園 内 グリーンプーク 保 育 園 内
6 月	シルエット劇場 保育参加・参観 (クラス懇談会・給食試食会) プラネタリウム見学 歯科検診 小学・中学・高校生体験学習 折尾保育所交流会 則松小交流会	年 長 児 全児・保護者 年 長 児 4・5歳児 全児・小学、中学、高校生 年 長 児 以上児・小学生	黒崎ひびしんホール 保 育 園 内 児童文化科学館 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
7 月	七夕交流会 プール開き 職員健康診断 小学・中学・高校生体験学習 野菜収穫 則松市民センター・地域合同防災訓練	年長児・年長者 全 児 職 員 全児・小学、中学、高校生 以 上 児 全児・地域住民	サングリーンホーム 保 育 園 内 健康センター 保 育 園 内 保 育 園 内 保育園・則松市民センター等
8 月	おたのしみ会 (卒園児交流会) エコ・マザー 中学・高校生体験学習 (ボランティアセンター)	年長児・卒園児 全 児 全児・中学、高校生	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
9 月	第39回 大運動会	全児・保護者	則松西1号公園
10月	交通安全指導 園児健康診断 2回目 保育まつり 秋の遠足 折尾保育所交流会 スポーツ支援 (サッカー)	年 長 児 全 児 全児・地域乳幼児 全児 (年齢別) 年 長 児 年 長 児	交 通 公 園 保 育 園 内 保 育 園 内 保育所近辺公園 則松西1号公園 則松西1号公園
11月	芋掘り (園外) 則松市民センター秋の文化祭 七五三祝 (神社参拝) 勤労感謝訪問 則松小学校学芸会見学	年 長 児 年 長 児 年 長 児 年 長 児 年 長 児	田 仲 農 園 則松市民センター 鷹 見 神 社 則松市民センター・囃子等 則 松 小 学 校

実施月	行 事	参 加 者	場 所 ・ 会 場
1 2 月	第 39 回 生活発表会 年長者とのふれあい交流会 クリスマス会 高齢者ホーム訪問	全 児 年長児・地域住民 全 児 年 長 児	保 育 園 内 則松市民センター 保 育 園 内 サングリーンホーム
1 月	たこあげ 則松市民センター・地域合同防災訓練 祖父母・地域の方との交流会	1 歳児～5 歳児 全児・地域住民・八幡西消防署 年長児・祖父母・地域の方	則松西 1 号公園 保育園・則松市民センター 保 育 園 内
2 月	節分（豆まき） 個別懇談会 保育参加・参観（講演会・クラス懇談会・給食試食会） クッキング 折尾保育所交流会	全 児 全クラス・保護者 全児・保護者 年長児・年中児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 折 尾 保 育 所
3 月	ひなまつり お別れ遠足 お別れ会 2 回（バイキング・シールラリー） 第 39 回 卒園式	全 児 全児（年齢別） 以 上 児 4・5 歳児・卒園児保護者	保 育 園 内 近 辺 公 園 等 保 育 園 内 保 育 園 内

#### 1. 月例行事

- ・おたのしみ会（誕生会） ・避難訓練 ・身体測定 ・園外保育 ・定例職員会議
- ・園内研修会 ・全職員細菌検査 ・給食関係職員O-157検査
- ・則松西 1 号公園等清掃（クリーンday）
- ・地震災害を想定した避難訓練や、不法な侵害から子どもたちを守る防犯訓練、台風等を想定した風水害避難訓練を必要に応じて実施する。
- ・毎月始めに園便り、クラス便り、給食献立表及び給食（食育）便りを発行する。

#### 2. その他

- ・お泊り保育（年長児） ・一日保育士体験 ・ほのぼのルーム（則松市民センター主催）年 3 回
- ・消防設備保守点検等 ・設置遊具等の安全点検 ・個人懇談は必要に応じて実施する。
- ・事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

#### 3. 職員研修については、保育者としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加させる。

#### 4. 子育て支援や則松小学校区地域住民会議理事会、委員会等に積極的に参加する。